

ジョルジュ・ルオー展 GEORGES ROUAULT 2013.10.1.TUE. ~ 11.17.SUN.



ジョルジュ・ルオー《優しい女》 1939年 出光美術館蔵
©ADAGP,Paris&JASPAR,Tokyo,2013,E0657

展覧会概要

フランスの画家ジョルジュ・ルオー（1871-1958）は、ステンドグラス職人のもとで働き始めた後、本格的な絵画を志し、象徴主義の画家ギュスターヴ・モローに師事しました。門下には、マティスやマルケなどのフォーヴィストたちが育ち、彼らの活動に刺激を受けながらも、ルオー自らはキリストの受難や聖書の場面をマチエールにこだわって描き、道化師やサーカスの人物たちをテーマに取り上げ、独自の世界を築いていきます。

ルオーの作品は、早くから日本でも紹介され、現在にいたるまで多くの人々の心をとらえてきました。本国以外でこれほどルオーを愛し、その作品を大切にしてきた国はないといえるでしょう。これまで国内に複数の優れたルオー・コレクションが形成されてきたことも、この画家が日本人に心から受け入れられてきた興味深い証といえます。近年では、同時代文学との関係など様々な切り口からその仕事に光が当てられ、画家の独自性のみならず時代背景の中での理解が進んできました。

本展覧会では、油彩・水彩による絵画作品および版画作品の中で、類型化され繰り返し描かれた人物表現に注目し、サーカスの人々・貧しい人々と驕れる人々・キリストと聖者たち・多彩な人物表現の各章に分けて紹介します。ルオーの同時代社会への観察者としてのまなざしと人間存在への深い洞察を手がかりとして、この画家が今なお私たちに訴え続けるメッセージを探り、その魅力に迫ります。

- 主催・会場 千葉市美術館
- 開館時間 10:00~18:00 金・土曜日 10:00~20:00 *入場受付は閉館の30分前まで
- 休館日 10月7日(月)、11月5日(火)
- 観覧料 一般 1000円(800円) 大学生 700円(560円)
 - *小・中・高校生、障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料
 - *()内は前売り、団体20名以上、および市内にお住まいの65歳以上の方の料金
 - *前売券は、千葉市美術館ミュージアムショップ[9月23日まで]、ローソンチケット[Lコード:33908]、セブンイレブン[セブンコード:025-186]、千葉都市モノレール「千葉みなと駅」「千葉駅」「都賀駅」「千城台駅」の窓口[11月17日まで]にて販売。
 - *10月18日(金)は「市民の日」につき、観覧無料です。

※ 本展は千葉市美術館のみの単館開催となります。

見どころ

- 千葉で初めてのルオー展！
千葉市のみならず、千葉県でルオーのまとまった展覧会は初めてとなります。また、当館でも海外作家の個展は4年ぶりとなります。
- 人物表現を中心に油彩、水彩、版画あわせて約80点を展示します。
- 20世紀最大の宗教画家といわれるルオーの個展にあわせて、所蔵作品展「現代美術と祈り」を同時開催。それぞれの「祈り」の表現にもご注目ください。(所蔵作品展の詳細は次ページ)

関連イベント

■ 講演会「若き日のルオー」

講師：萩原敦子（パナソニック汐留ミュージアム学芸員）

10月27日（日）14:00より（13:30開場）

11階講堂にて／聴講無料

先着150名（当日12:00より11階にて整理券配布）

■市民美術講座

「人間観察の画家 ジョルジュ・ルオー」

講師：水沼啓和（当館学芸員）

11月16日（土）14:00より（13:30開場）

11階講堂にて／聴講無料／先着150名

■ギャラリートーク

担当学芸員による：10月2日（水）14:00より

ボランティアスタッフによる：会期中の毎週水曜日
(10月2日を除く)

*水曜日以外の平日の14:00にも開催することがあります。
*会場の混雑状況により中止となる場合がございます。

■コンサート「ルオーゆかりの“放蕩息子”と道化の音楽」

（往復はがきによる事前申込制／※10月23日（水）必着）

ルオーが舞台美術を手がけ、プロコフィエフが音楽を担当したバレエ・リュス最後のバレエ《放蕩息子》。プロコフィエフ得意とするピアニストがそのピアノ版を演奏します。さらに道化師を好んで描いたルオーにちなみ、ラヴェルやストラヴィン斯基による道化を主題とした音楽も上演。

演奏：田中正也

11月4日（月・祝）14:00より（13:30開場）

1階さや堂ホールにて／定員150名／参加無料

【申込方法】

往復はがきに郵便番号、住所、電話番号、氏名、参加人数（2名までお申込可）を明記の上、下記までお申し込みください。

（お申し込みは1人1通まで、応募多数の場合は抽選となります。）

〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8

千葉市美術館 ルオー・コンサート係

相互割引

同時期にジョルジュ・ルオー作品を展示する、パナソニック汐留ミュージアムと千葉市美術館。よりルオーに親しんでいただくために、相互割引をご用意いたしました。

「ジョルジュ・ルオー展」の観覧券をお持ちの方

「ジョルジュ・ルオー展」の観覧券のご提示で、パナソニック汐留ミュージアム「モローとルオー 聖なるものの継承と変容」（9月7日～12月10日）の当日料金が、100円引きになります。

一般1,000円→900円、65歳以上900円→800円、

大学生700円→600円、中・高校生500円→400円

※他の割引との併用はできません。

※観覧券（招待券、半券可）1枚につき1人1回限り有効です。

「モローとルオー」展の観覧券をお持ちの方

パナソニック汐留ミュージアム「モローとルオー 聖なるものの継承と変容」の観覧券のご提示で、「ジョルジュ・ルオー展」の当日料金が、2割引きになります。

一般1,000円→800円、大学生700円→560円

※他の割引との併用はできません。

※観覧券（招待券、半券可）1枚につき1人1回限り有効です。

千葉市美術館 プレスリリース

同時開催

「現代美術と祈り」

「祈りの画家ルオー」の個展にあわせ、当館の現代美術コレクションから「祈り」と関わりのある3作家の作品選び、所蔵作品展を開催いたします。

80年代末からデジタルカウンターで「生命」や「輪廻」を表現し、平和への祈りを込めた作品も多く手がけてきた宮島達男。彼が当館の開館記念展のために制作した《地の天》(1996)は、青色LEDを使って展示室の床に広大な星空を具現したインсталレーションです。この大作に加え、繊細な黒の色面に神への祈りを込めた村上友晴の絵画と、窓から差し込む光のイメージのある種のイコンにまで高めた松尾藤代の絵画を展示。7階展示室の3つの部屋を使って、3作家ならではの静謐な世界を紹介します。特定の宗教を超えた、現代的な「祈り」と「崇高」の表現を体験してください。

*「ジョルジュ・ルオー展」をご観覧の方は無料



松尾藤代 《TOTAL LOSS ROOM》 1999年 千葉市美術館蔵



宮島達男 《地の天》 1996年 千葉市美術館蔵



村上友晴 《十字架の道》 1989年 千葉市美術館蔵

■ 関連イベント

市民美術講座「現代美術と祈り—宮島達男を中心に」 講師:水沼啓和(当館学芸員)

10月19日(土) / 14:00より(13:30開場) / 11階講堂にて / 先着150名 / 聴講無料

次回展予告

「生誕130年 川瀬巴水展」 2013年11月26日(火)~2014年1月19日(日)

大正から昭和にかけて日本各地の風景を描き続け、「近代の広重」と称された木版画家川瀬巴水の大回顧展。生誕130年を記念し、その全貌を改めて検証します。版元である渡邊木版美術画舗の全面的な協力を得て代表作を網羅するほか、写生帖や日記、異刷など多くの初公開資料もあわせ、作家の人となりや制作の過程にも光を当てるものとなります。

交通案内

千葉市美術館

〒260-8733 千葉市中央区中央 3-10-8 / Tel. 043-221-2311 (代) / FAX. 043-221-2316
<http://www.ccma-net.jp>

◎ JR 千葉駅東口より

・徒歩約15分

・バスのりば⑦より大学病院行または南矢作行にて「中央3丁目」下車徒歩約3分

・千葉都市モノレール県庁前方面行「霞ヶ浦公園駅」下車徒歩約5分

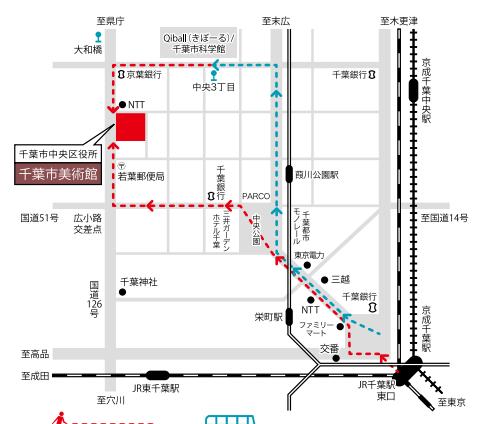
◎京成千葉中央駅東口より徒歩約10分

◎ 東京方面から車では京葉道路・東関東自動車道で宮野木ジャンクションから木更津方面へ、

貝塚 IC 下車国道51号を千葉市街方面へ約3km、広小路交差点近く

◎千葉市中央区役所と同じ建物です

◎地下に区役所と共有の駐車場がありますが、混雑が予想されますので、なるべく公共交通機関をご利用ください



千葉市美術館 プレスリリース

展覧会広報用として作品画像をご用意しております。是非、本展をご紹介くださいますようお願いいたします。ご紹介いただける場合は、別紙の申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてご連絡ください。画像の使用は1回限りとし、展覧会紹介の目的にのみご使用ください。

ジョルジュ・ルオー展

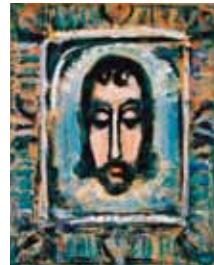
新聞・雑誌等、紙媒体用広報画像



1.《優しい女》
1939年
出光美術館蔵



2.《自分の顔をつくるぬ者があろうか?》
制作年不詳
清春白樺美術館蔵



3.《聖顔》
1939年
パナソニック汐留ミュージアム蔵



4.《小さな家族》
1932年
出光美術館蔵



5.《鏡の前の女》
1905年
群馬県立近代美術館蔵



6.『ユビュおやじの再生』より
「聖歌隊員ユビュおやじ」
1928年
富山県立近代美術館蔵

すべて ©ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2013, E0657

新聞・雑誌等、紙媒体への掲載をご希望の方は、上記または下記WEB媒体用広報画像も含めた8点よりお選びいただけます。

WEB 媒体用広報画像



7.《オネズィーム》
1952年
出光美術館蔵



8.《葉子》
1948-52年
出光美術館蔵

著作権の関係により、WEBへの掲載希望の方は、上記の《オネズィーム》《葉子》の2点よりお選びください。

「ジョルジュ・ルオー展」
広報用画像データ・プレゼント用招待券申込書

■ 写真ご使用に際してのお願い

- * 作品写真の使用は、本展のご紹介をいただける場合のみとさせていただきます。
- * 写真のご利用は、1申込について1回とし、使用後のデータは破棄してください。
- * 基本情報確認のため、広報担当まで一度校正紙をお送りください。
- * 掲載後、広報担当まで見本誌をご送付くださいますようお願いいたします。
- * お手数ですが、招待券プレゼントの受付、発送などは、貴編集部にてお願いいたします。
原則として、掲載紙をご送付いただきました時に招待券をお送りいたします。

千葉市美術館
広報担当行
FAX: 043-221-2316

貴社名:

媒体名:

ご担当者名:

発行予定日:

TEL:

発行部数:

FAX:

定価:

Email:

掲載予定コーナー名等:

画像到着希望日: 月 日 時まで

画像の掲載サイズ (おおよそで結構です
例: 5cm四方、など):

■ 画像データ申込 (ご希望のデータの番号に○をつけてください。)

1. ジョルジュ・ルオー 《優しい女》 1939年 出光美術館蔵 ©ADAGP,Paris&JASPAR,Tokyo,2013,E0657
2. ジョルジュ・ルオー 《自分の顔をつくらぬ者があろうか?》 制作年不詳 清春白樺美術館蔵 ©ADAGP,Paris&JASPAR,Tokyo,2013,E0657
3. ジョルジュ・ルオー 《聖顔》 1939年 パナソニック汐留ミュージアム蔵 ©ADAGP,Paris&JASPAR,Tokyo,2013,E0657
4. ジョルジュ・ルオー 《小さな家族》 1932年 出光美術館蔵 ©ADAGP,Paris&JASPAR,Tokyo,2013,E0657
5. ジョルジュ・ルオー 《鏡の前の女》 1905年 群馬県立近代美術館蔵 ©ADAGP,Paris&JASPAR,Tokyo,2013,E0657
6. ジョルジュ・ルオー 『ユビュおやじの再生』より「聖歌隊員ユビュおやじ」 1928年 富山県立近代美術館蔵 ©ADAGP,Paris&JASPAR,Tokyo,2013,E0657
7. ジョルジュ・ルオー 《オネズィーム》 1952年 出光美術館蔵
8. ジョルジュ・ルオー 《葉子》 1948-52年 出光美術館蔵

*広報目的に限り、当館が著作権使用の申請を行っております。掲載画像は名刺サイズ以下、また記事は400字以内にてご掲載ください。本申込書には画像の掲載サイズを必ず明記してください。また掲載誌は著作権申請のために必要となりますので、当館広報係までご送付ください。

上記の条件外では、著作権使用料が発生する場合がございます。ご不明な点はお問い合わせください。

■ プрезент用招待券申込
(ご希望の場合はチェックをつけてください)

5組10名様分 希望します。
(それ以外の枚数が必要な場合は別途ご相談下さい。)

チケット送付先
ご住所:〒

問い合わせ先

千葉市美術館 〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8

Tel. 043-221-2311 (代表) / 043-221-2313 (直通)

Fax. 043-221-2316

HP. <http://www.ccma-net.jp/>

担当学芸員: 水沼啓和、山根佳奈
広報担当: 磯野愛

ジョルジュ・ルオー展

GEORGES ROUAULT

2013.10.1.TUE. ~ 11.17.SUN.



ジョルジュ・ルオー『優しい女』 1939年 出光美術館蔵
©ADAGP,Paris&JASPAR,Tokyo.2013.E0657

記者レクチャー参加申込書

報道関係の皆様を対象に、披露説明会を行います。

展示作品をご覧いただき、作品の見どころなどを担当学芸員よりご説明します。

10月1日(火) 14:00より(40分程度) 10階会議室にて

*その後、8・7階展示室へご案内いたします

参加ご希望の方は下記にご記入の上、こちらの用紙を

FAX(043-221-2316)までご返信ください。

お名前

ご所属

お電話番号

E-mail address

問い合わせ先

広報担当 磯野 愛

Tel. 043-221-2313 (直通)

千葉市美術館

〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8

HP. <http://www.ccma-net.jp/>